

（外交・安全保障に関する調査会）

外交・安全保障に関する調査報告要旨

本調査会は、外交・安全保障に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和四年十月三日に設置され、三年間の調査テーマを「21世紀の戦争と平和と解決力〈新国際秩序構築〉」と決定した。

三年目の調査では、「中東情勢をめぐる現状と諸課題」、「ウクライナ戦争をめぐる現状と諸課題」及び「包摂的平和 (Inclusive Peace) の実現に向けた課題と方策」について、参考人から意見を聴取し、質疑を行ったほか、今期の調査を踏まえ、「21世紀の戦争と平和と解決力〈新国際秩序構築〉」について委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告として取りまとめ、令和七年六月四日、議長に提出した。

同報告書では、調査会における参考人の意見、主要論議及び委員間の意見交換について、それぞれの概要を取りまとめるとともに、新たな国際秩序の在るべき姿とその構築に向けたアプローチ、核軍縮・不拡散をめぐる対応、対人地雷禁止条約等をめぐる対応、AIの軍事利用、自律型致死兵器システム (LAW S) 規制をめぐる対応、人道主義をめぐる対応、気候変動が安全保障に及ぼす影響をめぐる対応及び国連改革をめぐる対応について、提言を行っている。